

# 連絡会通信

第15号  
2014年11月号発行  
11月8日発行  
陸前高田市  
陸前高田市委託  
仮設住宅支援員配置事業  
〒029-2205  
陸前高田市高田町字  
鳴石5-1  
集会所内  
(0192) 47-4385  
rikukokoseisui@gmail.com

## 『住民支え合い活動助成』申請サポート

高田町のとある仮設でのお話。当会が開催するカフェにおいて、住民の方より「自分たちでもお茶っこをすることがあるんだけど、これからは、書道や手芸教室とか、いろいろなことをやりながらみんなで集まりたい」という相談を受けました。この相談の背景には、「自立再建や災害公営住宅入りの移転などを迎えて退去者が増えてきた仮設の状況において、様々な人と交流を持ち続けながら、日々の生活への元気が繋がることをやりたい」という住民の想いがありました。おかれている環境に促わらずに誰かと何かをするだけで、自然と「お互いがお互いを支え合う」強化になるのかもしれませんが。当会では、住民が活用できる助成金等の申請サポートを行って

ますが、今回のサポートに当たり、「自治会等で申請しているのは知っていたけど、住民グループで申請できることは知らなかった」という声を聞きました。資料を見た住民より「自分の考えている事がやれそうだ！」と「声が挙がった一方、申請については、記入事項もややこしいうだし...記入方法も分からない」と不安に思っている様子も。そこで、当会作成の記入例を参考に、グループのみねさんが申請書を作成し、申請窓口となつて陸前高田市社会福祉協議会へ提出に行きました。その際、どのような



10月1日はみんなで餃子づくり★

活動をしたいか社会福祉協議会の職員にも相談し、アドバイスを受けながら申請に必要な事項を記入することができたとのこと。自分たちの活動がしやすい申請書になったと喜んでいました。「助成金の申請」というと「大きなこと」と捉えがちですが、今回の申請のきっかけは、住民の「ちいさなつばやき」から始まりました。最近、「どうしたら良いか分からないけど、〇〇をやりたい」という前向きな声が多く、住民から聞こえて来るようになりました。時の流れの感じ方は人それぞれですが、誰かと一緒に「こんな事をやりたい」「あんな事をした」と考える、心の余裕をもつ人が増えてきたのかもかもしれません。あなたも、つばやきしてみませんか？難しければ、つばやく前に紙に書いて、頭を整理してみるのもいいですよ。 「つばやき」から大きな声となつて一歩を踏み出した今回のこのグループ。今後の動きを楽しみに追いかけていきたいと思います。

のちから」と題し始まったこの企画、昨年度の横田・小友町に引き続き、今回は矢作町をまちあるきです。五つのチームに分かれて、各講師の方と地域を歩きながら、まちの歴史を学んだり、穴場を巡ったり。小黒山チームは、善段歩いて行くことのないループ橋のふもとにも足を延ばして探索しました。今回の参加者は、ほとんどが大学生で、善段なかなか味わうことのできない大自然に囲まれた矢作町に魅了されていました。地元講師の方からも「及ばない」と感じておられること、知れないことや以前と変わってきた」という声がありました。 八つの町からなる陸前高田。健康づくりを兼ねて、次の機会に気軽に



みんばて情報整理中★ 道路からは見えない大滝小滝(二又地区)

## みなさんご存知？



あゆのほり★

横田町 第12回 あゆの里まつり

11月2日、川の駅よこたで開催。よさこいソーラン(横田川)・若竹太鼓(横田中)・踊り(3B)・体操(美)・郷土芸能(かへぬり)・書画・絵画・書・手芸作品など、展示コーナー、案内コーナー、とてかほかのコーナーなど盛りだくさんの内容で盛り上がりまじり★



矢作町 第28回 おいで木成まつり

10月26日、生多目的集会所(生出コミセ)・ホロタイの郷「祝の家」で開催。生出名物の木炭・竹炭などが大人気を博した販売コーナーの他、炭や写真の展示コーナーや美術化に向けて動き出している木炭発電車の紹介も。生出川に設けられた魚のつかみ取りコーナーでは、子どもに負けず大人も大はしゃぎがけなげんか(嵐山)の演奏もあり、生出のまちが活気づいていました★

10月19日に第一中学校の体育館で開催。今年度は、国内だけでなく、東日本大震災の際にあなたに支援を頂いた台湾からも1チーム参加し、力強い鼓動が響き渡っていました。

## 全国 大鼓フェスティバル



11月1・2日に行われた『産業まつり』。今回は初めて『ツール・三陸』との合同開催となりました。1日は天候が悪く、みなさん長靴で頑張っていました。2日は天気も回復し、自転車の方々も、同時開催も相まり、地元の方々と全国から来られた方との交流も盛んとなり、活気あふれる2日間となりました。

## 産業まつり & ツール・ド・三陸

## 秋 in 陸前高田



10月4日、4年に1度開かれる鶴岡神社例大祭が行われ、『糧神様子虎舞』が奉納されました。約22mの高さで披露される伝統の舞いは圧巻でした！

広田町 根柢 梯子虎舞

同級生で釣りの師匠の熊谷忠行君からリレーを受け取りました、美容師の佐々木大翼(だいすけ)です。震災以前は気仙沼のサロンに勤めていましたが、復興していくこのまちの店のひとつになりたいという思い、大石公民館(高田町)の隣に『美容室 spica Hair(スピカヘア)』を開業しました。たくさんの方のお力添えをいただき、お陰様で開店から一年を迎えました。みなさんに似合うスタイルをご提案し、満足していただけるよう努力してまいります。少しずつみなさんに知っていただき、気軽に来ていただけたら嬉しいです。 ですので、よろしくお願ひします★

【編集後記】 今月号では、陸前高田で開催された物をお届けしました。その他にも、いろいろ行われています。みなさんは、いいこと参加しましたか？ そんなこんなで秋を満喫していたら、あつという間に冬がやってきたね！

帰り道 見上げた夜空に オリオン座



「リレー de アミーゴ!」

「思いのいい空間に...」

by 前級生



# 災害公営住宅 建設予定地の定点観測

水上地区  
市営 30戸

平成26年12月  
完成予定

ついに、  
掘われていたシートがとれました！

新ヶ沢地区  
県営 301戸

看板が登場！  
この奥に災害公営住宅が  
建つ予定です

下和野地区  
市営 120戸

入居中

陸前高田市消防本部  
陸前高田市消防署で

今泉地区①・②  
① 県営 74戸  
② 市営 60戸

嵐影日は強風で、砂埃がすごかったです！  
そんな中でも、みなさん変わらず一生懸命作業をされています

中田地区  
県営 197戸

167戸：平成27年6月  
30戸：平成27年7月  
完成予定

前号と見比べてみましょう、足場が高くなりました！

中田雇用促進住宅が隠れてしまおうらい、足場が高くなりました！

柳沢地区  
県営 28戸

平成27年2月  
完成予定

高くなった足場が  
シートで覆われています！

脇ノ沢地区  
県営 60戸

この地区は、防災集団移転と災害公営  
住宅の建設予定地です

現在、防災集団移転の用地の整備中です

高田東中学校方面

西下地区  
県営 40戸

平成26年11月  
完成予定

この真鍮でも作業が進んでいます

大野地区  
市営 31戸

平成27年8月  
完成予定

この日は、  
クレーン作業中

以下の予定地は、今後掲載予定です

- 長部地区：市営 30戸
- 田端地区：市営 14戸

総合型りくせんかたが行っている『玉入れタイムレース』。今年も、市内各地を回って行われています。運動不足が気になる方、寒くなってきたのでなかなか身体が動かせていない方など、みなさんと一緒に楽しく運動してみませんか★ お問い合わせ先：NPO法人 総合型りくせんかた ☎ (0192) 47-4720

## 10月の動き

町名	自治会数 (内4加盟 自治会数)		中間支援			自治会 サポート		自主活動	
	配布物	イベント	配布物	イベント	物資	イベント	配布物等		
高田	28	9	4	0	2	5	10		
米崎	16	14	0	0	5	0	7		
小友	10	16	1	0	0	0	5		
広田	7	7	4	0	1	0	3		
竹駒	16	12	3	0	0	4	10		
横田	11	10	2	0	0	3	7		
矢作	11	10	3	0	0	2	7		
気仙	18	9	0	0	0	4	8		
住田	3	0	0	0	0	0	3		
合計	117	87	17	0	8	18	60		

※数は町ごとの延べ数です  
※高田市には、民間賃貸借上宅宅として連絡会に加盟して中田雇用促進住宅を含みます

【項目の説明】  
○中間支援：行政や各団体からのチラシの配布や掲示  
○配布物：住民や自治会・各団体のニーズに基づいた、照合や調整(イベントや物資等)  
○自治会サポート：自治会からのニーズに基づいた、チラシの作成や助成金申請のサポート等  
○自主活動：連絡会連名の発行やカフェ(お茶)の開催サポート等

10月1日～31日

## コミュニティサポート

◎コミュニティサポート：仮設住宅を含む、地域内及び地域間交流や目的別交流(地域を問わないグループ等)の推進・サポート

大石公民館で  
ヴァイオリンとピアノの生演奏  
をみなさんにお届けするために、  
ヴァイオリンの生音に、自然と癒されます。  
今回集まったのは仮設以外の住民が大  
多数。そんな中、住民より「集まる機会  
を作ってくれてありがとう」との声が。  
改めて集まる機会が少ないご近所さんの  
思いの場にもなりました。

青森県八戸工業大学第一高等学校の取  
組に陸前高田を訪れました。  
開催日は、市内中心部でのイベントが集  
中していったため、今回は矢作地区で開催す  
ることになりました。  
当日来場した約20名の住民は、中でも  
『線上のアリアル』心を打たれている様  
子でした。また、子どもたちの父兄による  
ハルの伝統的な盆踊りも披露され、楽しく癒しのひと時  
を過ごしました。

下矢作コミセンにて  
青森県八戸工業大学第一高等学校の取  
組に陸前高田を訪れました。  
開催日は、市内中心部でのイベントが集  
中していったため、今回は矢作地区で開催す  
ることになりました。  
当日来場した約20名の住民は、中でも  
『線上のアリアル』心を打たれている様  
子でした。また、子どもたちの父兄による  
ハルの伝統的盆踊りも披露され、楽しく癒しのひと時  
を過ごしました。